

YMCA 呼子高原センター・キャンプ場について

YMCA 呼子キャンプは、中国山地のなだらかな起伏、標高 500～650 メートルに広がる日南町の呼子高原にあります。

約 280ha(85 万坪)の広大な敷地を持ち、多くが水源涵養保安林に指定されています。

クリやコナラの自然の二次林やヒノキ・スギの造林地で行われる「自然体験・観察プログラム」、「森林体験プログラム」は、幼児・小学生から青年・成人、高齢者の方まで、どなたでも気楽に体験することができます。

その他、「アドベンチャープログラム」、「創作・芸術プログラム」、「生産体験プログラム」なども行われています。

ヒノキ人工林間伐作業では約 50ha の人工林(約 30 年生)を対象に、間伐・枝打ち・倒木除去などを行っています。



森林作業の様子

4月27日、呼子キャンプ場にてボランティア協会の方と合流します。NPO 職員、矢田前町長、菅沢の古民家かつみやの宮本さんが同行です。本年度の林業研修生もボランティア協会の一員として参加しています。

朝食の後、車に分乗して本日の作業現場に向かいます。責任者の注意事項確認の後、チームに分かれて今回の担当地区にてチェーンソーや鋸を使用して間伐・枝打ち作業を行いました。森林ボランティア協会では山仕事の請負もする場合もあるとの事で、作業の様子も手慣れたものでした。

今回の作業現場も、かつてはたたらが盛んに行われていた場所で、小川には真っ黒な「金糞」が沈み、山の中には炭焼き窯の痕跡が残っています。午後の作業の後、川をふさいでいた倒木を除去して本日の森林作業は終了しました。

夕方からのバーベキュー食事会の際、フォレストアカデミージャパン理事長より日南町の森林林業の課題について説明が行われました。また、キャンプ場周辺の広葉樹を使った炭焼き作業も行われ、こちらは翌日まで火入れが行われました。6月に再度日南町を訪問し、炭の搬出を行うとの事です。

都市部の方にも山に対して関心を持っていることをひしひしと感ずることが出来ました。こういった都市部との交流をもっともっと盛んにしていくことで、都市→山への人の流れが出来るようにしたいものです。

※今回の森林作業の様子は、日刊木材新聞 5/24 付にも掲載されました。